

かつたでしょう。

（店内で鹿児島の知覧の
煎茶をいただく一人）

蛭子記者：おー、とても
濃厚な味わいですね、ご
主人。そういえば、神話
大学の農場実習でお茶を
摘むときに「一芯三葉」
(いつしんさんよう)」
と教わりました。最初の

三代目ご主人：新茶は「一芯一葉」ですね。

大山社長・ばかたれ一、
からの焼き鳥のたれ一。
「やあきた」ですよ、まつ
たく。すいません♪主人、
うちの若いのは無学でし
て(ペレペレ)

三代目ご主人：あはは。
　　はい。大丈夫ですよ。ち
　　なみにうちは「ゆたかみ
　　どり」という品種も扱つ
　　てますよ。

蛭子記者：あつ、こ）から観る景色に「大黒様と恵比寿様」が「福の神」として飾られています。社長と私がこの店に導かれた理由はここにもあつたのではないか？

三代目)主人・これは、
島根県の美保神社のもの
です。

大山社長：むむー、これは！　ご主人、出雲では出雲大社だけでは「片まいり」といいまして、松江市の美保神社とセットで参られると「両まいり」とされ、御縁が成就しやすいと申します。

蛭子記者：どうやら、飯島町の徳山大仏＝写真左上＝をみて、その足で児玉町の児玉源太郎大将の産湯の井戸＝写真右上＝

大山社長：ん？ なんだ
い？

(ひろひろびろ…蛭子記
者に須佐デスクからメー
ルが入る)

A close-up view of a white stone monument with inscriptions, set against a background of a brick wall and wooden beams.

100

知覧の煎茶

「冬紅葉 濃い恋来いと
糀町 わたしの轟原は

「冬紅葉」 濃い恋来いと
糸町

※フィクション大きじいっぽいでおおくいしました。いじるとからだと御縁を大切に。

河村師匠

「冬めくや濃い恋愛」と茶を濁す

その句が聞こえたので耳をそばだてていた。

その句が聞こえたので耳をそばだてていた。

※「熊蟲たぬか」<https://map.yahoo.co.jp/v3/place/5Fxso2QIP12>より転載・加工
してあります。